伊賀市　事務事業評価シート

整備事業

	コード	名　　称			コード	名　　称
事業名	190	避難所誘導標識等設置事業		会計	01	一般会計
				款	02	総務費
基本施策	15	自然災害への十分な備えをする		項	01	総務管理費
				目	20	防災費
担当部課名	総務部　総合危機管理課			細目	101	防災対策経費
作成者氏名	鹿島　泰近	連絡先	22－9640	細々目	01	防災関係経費

事業の計画・内容

整備目的	市指定避難所へ安全で円滑に避難誘導を図るため、避難所誘導標識の設置を行う。 （1）避難誘導標識の新設	整備内容	1　整備面積等	市指定避難所107施設
			2　規模・構造	誘導標識設置済施設53施設 未設置施設54施設
			3　総事業費（千円）	38,651

投入資源

			H17	H18（予算）	H19（予算）
①投入人員	正規職員　（人）		1.0	1.0	1.0
	人件費合計（A）		7,200	7,200	7,200
②支出内訳（千円）		事業費（B）	13,651	5,000	5,000
		工事請負費	13,651	5,000	5,000
		その他			
合計（A+B）			20,851	12,200	12,200
③財源内訳（千円）	特定財源	国県支出金	3,200		
		地方債			
		受益者負担			
		その他特財			
	一般財源		17,651	12,200	12,200

上記①～③に関する特記事項
平成17年度緊急地震対策促進事業（県単）ただし、合併前の伊賀町、大山田村において同制度により整備済みであるため、伊賀市としての補助制度活用は、平成17年度のみ。補助基本額1避難施設100千円

根拠法令・要綱等
三重県避難誘導標識等設置指針

関連事業

事業年度

開始年度	平成　17　年度	終了年度	平成　22　年度

進捗状況

区分	年度				
	H17	H18	H19	H20	H21
工事請負費	←				→
進捗率	35%	48%	61%	74%	87%

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	目標 平成　22　年度
避難誘導標識整備済市指定避難所数	53／107 （設置済市指定避難所数/市指定避難所数）	107施設
避難誘導標識整備済市指定避難所率	53／107=49.5% （設置済市指定避難所数/市指定避難所数）	100%

事業開始時からの状況変化等

平成18年4月現在、伊賀市内における避難誘導標識の設置数は53施設で、1施設あたり3～4枚の誘導標識が設置されている。合併前に、旧伊賀町、旧大山田村において整備済みであるため、上野、島ヶ原、阿山、青山を中心に整備を行う。

評価				総合評価
	必要性	4	誘導標識については年々増設されるなか、その老朽化や事故等による立替・修繕も発生してくるものであり、設置後も維持補修についての事業費の確保が不可欠である。（現状維持）	A
	有効性	4		
	達成度	3		
	効率性	3		